

読み書き困難のある児童生徒を支援するICTの活用

★特別支援教育士資格更新ポイント認定講座申請予定★

日本臨床心理士資格認定協会「短期研修機会(ワークショップ)」

◎承認番号:W29111

◎承認期間:2017年7月1日～2022年6月30日

期 日:2019年11月2日(土)・3日(日)

受講対象:学習障害など発達障害の児童生徒の指導に携わっている方、治療・教育・相談・指導の領域の専門家の方々、ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

定 員:70名(定員になり次第締切りますのでホームページなどでご確認ください)

受講料:14,000円(税込み) ※昼食は各自おとりください

会 場:明治安田こころの健康財団 講義室 ※詳細地図は受講証に添付いたします
東京都豊島区高田3-19-10

(JR山手線、西武新宿線、東京メトロ東西線「高田馬場駅」下車徒歩約7分)

主 催:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL:03-3986-7021

協 力:日本マイクロソフト株式会社

LD等の読み書きの困難のある児童生徒に対しては、紙や鉛筆を使った読み書き訓練だけにこだわることなく、彼らの困難を補い、学習への参加を保障する合理的配慮として、ICTを活用することが必要です。本集中講座では、ICTにより学びを保障する際に必要な考え方、具体的に身の回りにあるICTを活用して読み書きを支援するための方法、試験や教科書での学習保障の事例、配慮の可否を判断する際に参考となるアセスメントの実例について知ることで、ICTを児童生徒自身が活用して、主体的に学ぶ個人を育てるための基礎を学びます。

※ICTの利用スキルについて、ワープロソフトやメールソフトを使用している程度の知識がある方であれば受講することができます。

【企画講師 近藤 武夫/東京大学先端科学技術研究センター】

【プログラム】

| 日程 | 時間 | テ ー マ | 講 師(敬称略) |
|---|---------------------|---|--|
| 11月2日(土) | 13:00 } 18:00 | (1) オリエンテーション ・LD等の発達障害での学習の困難とICT利用 | 東京大学 先端科学技術研究センター 人間支援工学分野 准教授 近藤 武夫 |
| | | (2) Windowsによる読み書きの支援 ・Microsoft Wordの文書を音声で読み上げよう ・標準機能として備わっている読み書きを支援する機能を知る ・音声読み上げ、拡大、背景色の変更などを便利にするソフト | |
| | | (3) iOS(iPad, iPhone)による読み書きの支援 ・標準機能として備わっている読み書きを支援する機能を知る ・音声読み上げ、拡大、背景色の変更などを便利にするアプリ | |
| 11月3日(日) | 9:30 } | (1) 読み上げ等が可能な教科書や書籍を入手する・つくる | |
| | 12:00 | (2) 書字障害のある児童生徒・学生のためのICT利用 | |
| | 12:00~13:00 | 昼 食 (各自おとりください) | |
| | 13:00 } 16:30 | (3) 教室や試験での配慮としてのICT利用 ・教室や試験の配慮を支援するツールの紹介 ・高校入試や大学入試での配慮事例 | |
| (4) 読み書きのアセスメントの事例 ・標準化されたデータとの比較で個々の子どもの読み書き困難の状況を知り、配慮を考えるためには | | | |
| (5) 学校や地域での体制整備 ・保護者・本人、学校(担任、管理職)、通級、教育委員会のICT利用での連携の事例 | | | |

※ 時間割、テーマ等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 講義の途中、適宜休憩時間を入れます。

※ 会場にはSurface(Windows タブレット)・iPadを用意しますが、お手持ちのiPad(iOS 8.0以降)をお持ちいただいても結構です。